

第4回 飯綱町輝く農山村地域創造推進企画会議

1. 開催概要

○日 時 令和6年12月13日（金） 15:00～17:00

○場 所 飯綱町役場2階会議室

○出席者

〈委 員〉

山田委員、古木委員、西澤委員、廣田委員、久保田委員、中村委員、中條委員、
藤原委員、小野委員、植田委員

〈地域おこし協力隊〉

三原委員、石川委員、原口委員、佐藤委員、飯森委員、木内委員、山城委員、鏑木委員
鈴木委員

〈事務局〉

産業観光課：清水課長

産業観光課農政係：土屋調整幹、西澤係長、原田担当係長

株式会社KRC 小林、木下

○欠席者

〈委 員〉土倉委員、山下委員、天野委員

〈地域おこし協力隊〉奥村委員

2. 次第

1) 開 会

2) あいさつ

3) 前回会議の振り返り

4) ワークショップ

(1) (仮称) 日本一のりんごの町ビジョン
(骨子案) について

(2) 目標実現に向けた具体的な取組について

5) その他

6) 閉 会



3. 会議概要

1) あいさつ

○ 清水課長のあいさつ

お集まりいただきましてありがとうございます。前回は11月、晩成種のりんごが採れ始めるりんごの収穫時期という、農家さんにとって大変忙しい時期に、夜間の会議を開催させていただいた。

今年りんごについていろいろな話を聞くが、温暖化の影響をかなり受けたと思う。新聞にもあったが、胴割れを自分のりんご畑でもみた。それぞれの農家で異なるが、収穫量も少ないという声もあった。市場での価格はよいとお聞きする。まだまだ、収穫したりんごの選果など農家さんの大変忙しい時期かと思うが、一年を振り返り、よい年だったとなればよい。

今回は、4回目の企画会議になる。このプロジェクトは、地域資源である「りんご」を最大に活用した、輝く農山村地域の創造を目指すものになる。グループワークが多く、委員の皆様には負担のかかる内容で申し訳ないが、りんごをもとにしたさまざまなアイデアをいただいた。本日は、具体的な内容を詰めていく作業が中心になるが、委員の皆様にご協力をお願いしたい。

また、この時期は、町の来年度の予算編成で大詰めの時期になっている。皆様からいただいたご意見も、予算に反映できればと思っているので、活発なご意見をいただければありがたい。

皆さん、よろしくお願いいたします。

○ 新たに加わった、鈴木委員（地域おこし協力隊）のあいさつ

11月からりんご栽培を中心に農業振興を目的として、ふるさと振興公社で農業の勉強をさせていただいている。前職ではメーカーで経理を担当し、経営への知見はあるものの、農業については全くの素人で、毎日勉強しているところである。地域おこし協力隊の任務終了後は、農業をやりながら地域の特産品を扱う商社機能をもつ会社を設立したいと考えている。よい勉強の機会をいただけたと思う。よろしくお願いいたします。

2) 前回会議録の確認とワークショップ

(1) (仮称) 日本一のりんごの町ビジョン（骨子案）について

事務局より、日本一のりんごの町ビジョンの骨子案として、これまでの会議での意見を反映させたビジョンの目的、将来像と目標を共有した。

(2) 目標実現に向けた具体的な取組について

ワークショップは、「『日本一のりんごの町』の実現に資する取組内容を整理して、進め方や体制を考える」をテーマに、前回の会議で出た案やグループ討議でまとめた案をもとに、3つの目標の実現に向けて7つのリーディングプロジェクト（尖る取組）として整理したものを、誰がどのように進めていくのかを具体化するワークを実施した。

ワークでは、各プロジェクトを3つの目標ごとに分け、それぞれのプロジェクトで、主体的に関われそうな取組内容を付せん書き出してワークシート上で整理した。また、取組内容の掘り下げや実施体制の検討、自身の関わり方を考えるとともに、次年度の着手を見据えた対話を行った。

ワークシートで出された意見を、プロジェクトごとに4～12ページにまとめた。また、ワークシートの写しを12、13ページに示す。

目標① 多品種で高品質なりんごをつくる町（品種・品質日本一）関連

尖がる取組その1 クッキングアップル活用プロジェクト			
◆趣旨 飯綱町では、国内では希少な海外原産の料理用りんご（クッキングアップル）が多く生産されている。とくに「ブラムリー」は8月下旬から9月中旬に収穫でき、周年栽培にも適しており、また、料理用りんごは見た目を重視しないため省力化が可能である。この特性を活かし、飯綱町の特産品として認知度の向上や市場の拡大を目指す。			
◆魅力 ・希少な海外原産のクッキングアップルを多く生産している国内有数の産地。 ・「ブラムリー」や「グラニースミス」などの品種の多様性と収穫期の広さ。 ・見た目を重視しないため、省力化農業が可能。		◆課題 ・クッキングアップルの知名度が低い。 ・消費者に加工方法や料理用途が知られていない。 ・ブランドが確立しておらず、プロモーション不足。	
◆魅力と課題への追加意見			氏名
魅力	・サプライチェーン	班	-
課題	・クッキングアップルの調理方法が難しいイメージがある（煮詰めるジャムはめんどくさい）	A班	-
課題	・つくっても市場は？数年後が不安では？	C班	<input type="text"/>
◆取組内容			
① クッキングアップルの特性や料理用途を紹介する情報発信やイベントの開催。			
② 民間事業者や飲食店との連携による商品開発。			
取組番号	意見	班	氏名
①	・ブラムリーを電子レンジでジャムづくり。直売所等の活用	B班	<input type="text"/>
①	・情報発信はできるかも	B班	
①	・マルシェ等で販売し、知名度を上げる（生、加工品）	B班	
①	・料理提供、シードルガーデン	B班	
①	・自分たちも1つはりんご料理をつくれるように	C班	
①	・イベントをSNSでLive配信し、参加できない方にもPR	C班	
①	・イギリス流、オーストラリア流、オランダ流の調理法があれば教えてほしい	C班	
①	・飯綱町国際交流協議会として世界のりんご生産地や起業との提携関係を確立する。2025年はスイスのトゥールガウ Tobi 社訪問予定	C班	
①・②	・一般の家庭でもつくりやすいレシピの開発→販売イベント、料理教室	A班	
①・②	・英国りんごフェアを活用したイベント	A班	
①・②	・りんご提供	B班	
①・②	・知られていない活用方法の紹介	B班	
①・②	・アグリツーリズムの運営企画	A班	
①・②	・加工所所有	A班	
②	・グラニースミスの生産	A班	
②	-	B班	
②	・りんごスイーツコンテストとの連携、ブランデーなどの提供	B班	
②	・多様な業界の方と情報交換したい	C班	
②	・シードルへのクッキングアップルの使用	C班	
②	・飲食店との商品開発	C班	
②	・りんごスイーツコンクールを通じて商品開発	C班	
-	・珍しい種類のりんご栽培（ブラムリー、グラニースミス等）	A班	
-	・全国の販売店に「飯綱のクッキングアップルでつくった料理はめちゃくちゃおいしい!!」と思われれば、注文がたくさん来る！ 最初→インフルエンサーや有名料理店に無料で提供→SNSやメディアで発信してもらう→全国から注文が来る	A班	

尖がる取組その2 サステナブルりんごプロジェクト			
◆趣旨 有機栽培りんごの推進や、未利用資源を活用した高付加価値商品の開発を通じ、持続可能な農業の推進を目指す。また、環境に優しい農業として地域ブランドを確立し、経済的基盤の強化と町の活性化を図る。			
◆魅力 ・剪定枝や摘果りんごなど未活用資源の可能性。 ・すでに、りんごレザーなどの尖った加工商品がある。 ・サステナブルなど持続可能な取組は消費者や市場で注目されている。		◆課題 ・地域ブランドとしての認知度不足。 ・高齢化や後継者不足による生産量の減少。 ・有機栽培や加工技術に関する専門的な知識の共有が不十分。	
◆魅力と課題への追加意見			班
課題	・環境にやさしいとは一概に言えない		A班
課題	・オーガニックできるのか？		B班
◆取組内容			
生産	① りんご剪定枝を活用したバイオ炭を土壌改良資材として活用した、有機栽培の研究・推進。		
	② 農業専門家による講習会を開催し、りんごの栽培技術や持続可能な農業手法を学べる場を創出。		
加工	③ 格外りんごを活用したジュース、シードル、コンポートなどの加工品の開発と販売促進。		
	④ 搾りかすや皮、摘果りんごを活用し、りんごレザーやりんご糖蜜液などの高付加価値商品の開発。		
販売	⑤ オーガニックりんごとして「いいづなブランド」を確立し、高価格での市場展開を図る。		
	⑥ WEBサイトでの展開を進め、販路拡大を目指す。		
	⑦ 町のブランド商品の販売を通じて、農家への利益還元を図る。		
取組番号	意見	班	氏名
①	・炭による土壌改良	C班	
①	・土壌改良材の販売	B班	
①	・TOPPANさんとやれる	C班	
①・②	・発信に関して	A班	
①・③・⑤・⑥・⑦	・有機 JAS 取得、バイヤーとのつながり、資材販売	A班	
①・④	・剪定枝の活用、チップ材、摘果りんごの加工	B班	
②	・りんごフォーラムの場所貸し	B班	
②	・有機にこだわりすぎない技術	C班	
②・③	・新規事業として参入 (JV でも OK) →ただしオレが社長 (笑)	C班	
③	・つる果の活用	B班	
③	・価格による	B班	
③	・りんごの加工品の開発→ふるさと納税の返礼品に	C班	
③	・ジュースノベルティー ROBOTさん	C班	
③・④	・規格外の価値を上げるよい方法	C班	
③・④	・引き続きシードル製造、残さや摘果りんごの活用、新商品開発	C班	
③・⑦	・対面販売	B班	
③~⑦	・「生産」について 農家さんとのつながりを活用して、発信の手伝い 品種別りんごジュース 販売促進を強化し価値を高める 魅力の発信	A班	
④	・りんご染めを有名デザイナーに使ってもらい、ショーなどに使ってもらおう→PRになる	A班	
④	・残さであるりんご果蜜を活用したご当地アイテムとしてみつどん石鹸 考案中	C班	
⑤	・WEB 販売みつどんマルシェ	B班	
⑥	・WEB サイトは外注し、知り合った他市町への売込みはできる	B班	
⑥・⑦	・ウェブサイトのコンテンツづくり	A班	
⑦	・高坂シードル	B班	
-	・絵具 (捨てる野菜)	A班	

目標② 多彩なりんご体験ができる町（体験メニュー日本一）関連

尖がる取組その3 りんご関連作業体験化プロジェクト			
◆趣旨 りんご狩りのみならず、選果や加工など、りんごに関連する多様な作業を体験プログラムとして提供し、農家の副収入に繋げ、町全体の活性化と持続可能な農業の実現、さらには体験をきっかけとした援農や新規就農の促進を目指す。			
◆魅力 ・りんご狩りや選果体験などの農業体験のニーズはある。 ・りんご学校などの既存の取組。		◆課題 ・りんご関連作業の体験メニューの不足。 ・体験情報や申し込みのシステム化が進んでいない。 ・生産者の人材不足と高齢化が進み、援農や新規就農の促進が求められている。 ・りんご生産だけでは生計が立てられない現実。	
◆魅力と課題への追加意見			班 氏名
課題	・援農だよりはNG 産業としての弱さ	A班	-
課題	・体験をきっかけとした出口に新規就農は大変そう。体験→就農ではない	C班	
◆取組内容			
体験メニュー	① りんご狩りのみならず、りんごの選果体験などの関連作業を観光体験プログラムとして提供。		
	② ジャムやコンポートへの加工体験やシードルの工場見学などを体験化し、とくに生鮮りんごを持ち帰ることができないインバウンドに向けてアピールする。		
情報発信	③ 体験メニューをカテゴリー別に掲載し、申込みから決済までをワンストップでできる WEB サイトの構築や、窓口の開設。		
援農就農	④ 体験プログラムをきっかけにした、援農や新規就農に繋げるための受け入れ体制の構築。		
取組番号	意見	班	氏名
①	・りんご農業体験の提供	A班	
①	・観光農園	A班	
①	・協力していただける農家さんと協力	B班	
①	・りんごジュースづくり体験	B班	
①	・りんご学校運営のノウハウ	B班	
①	・農家として協力	B班	
①	・プログラム醸成	B班	
①	・摘果・葉摘み体験	B班	
①	・今後、りんご農家として独立したら、りんご狩りなどのプログラムを提供できます。	C班	
①・④	・1泊2日、6泊7日の農家民泊を通じ	B班	
①・④	・駅からハイク	B班	
①～④	・利きりんごジュース	A班	
①～④	・EAST 工場見学 シードルやタルトの生産、シール貼り 箱が積まれているだけで絵になる。いろいろな品種が揃うレアな日	A班	
①～④	・料理教室	A班	
①～④	・りんご狩り～調理 とったりんごをすぐ!!	A班	
①～④	・開業（飲食）支援	A班	
①～④	・企業（町内）研修で農業	A班	
①～④	・体験メニューづくり	A班	
①～④	・サイト構築	A班	
①～④	・受け入れ体制	A班	
②	・インバウンドの対応	B班	
②	・ジャムづくり教室	B班	
②	・シードル工場見学	C班	
②	・SDGs 空きビン活用・残さ活用ワークショップ	C班	

取組番号	意見	班	氏名
②・③	・ SNS 経由で情報発信	A班	
③	・ アップルミュージアムでお客様に紹介（案内パンフレットなど作成）	A班	
③	・ 業者の選定、打合せ	B班	
③	・ WEB サイトの設立ディレクション	B班	
③	・ 体験メニューのアイデア出しができる	C班	
④	・ 援農の受け入れ可	B班	
④	・ 技術、経営面のフォロー 従業員として面倒を見る余裕がない	C班	
④	・ 新規就農を目指しているので、今後独立したら就農に関するアドバイスができるかもしれません	C班	
④	・ 新規就農の話はできる	C班	
-	・ 体験メニューを日・英で発信	C班	
-	・ 宿泊施設・レストランの提供等	C班	
-	・ 初めての方向けのプログラムまた案内	C班	

尖がる取組その4 りんご園活用プロジェクト			
◆趣旨 飯綱町の景観の魅力である美しいりんご園を観光プログラムやイベントに活用し、地域の知名度向上と観光資源の活用を目指す。			
◆魅力 ・四季折々の景色が楽しめるりんご園。 ・「みつどん」というキャラクター。 ・りんご加工品やオリジナル商品が豊富。		◆課題 ・観光体験プログラムの不足。 ・飯綱町の観光の知名度が低い。	
◆魅力と課題への追加意見・・・なし			
◆取組内容			
体験メニュー	① りんごの花の咲く季節での花見やパーティープランとして体験プランを提供。		
	② プロポーズ等のロケーションとしてりんご園を売り出す。		
	③ 冬には、スノーシューを履いてりんご園を歩く体験プログラムを提供。		
	④ りんご畑の景観を活かして、みつどん像などフォトスポットを設置する。		
情報発信	⑤ 「#飯綱りんご」のハッシュタグを使って SNS に写真を投稿してもらい、飯綱町の魅力を広める。		
	⑥ イベント情報や体験プログラムを紹介、申込みできる WEB サイトの構築。		
販売	⑦ りんご畑を会場に、りんごジュースやスイーツ、オリジナルグッズ等を販売。		
取組番号	意見	班	氏名
①	・花見、養蜂見学	B班	
①	・りんごの花の時期圃場提供可	B班	
①	・お花見プラン	B班	
①	・料理のテイクアウト	B班	
①	・町限定 乾杯シールドの提供	C班	
①・③	・雪上スノーシューウォーキング	B班	
①・③	・りんご園でデイキャンプ 雪上コーヒー	B班	
①・③	・社員研修プログラムをつくり発信	B班	
①～③	・着地型ツアーとして当ホテル宿泊ポータルなどでセールス	C班	
①～③	・ホームページ、クラブハウスで賞品販売	C班	
①～④	・協力いただける農家さん、イベント業者の選定	B班	
①～⑤、⑦	・パーティー（スイーツ）の実施	A班	
①～⑤、⑦	・フォトスポット・SNS→発信	A班	
①～⑤、⑦	・りんご畑でのキッチンカーお茶会	A班	
①～⑦	・体験メニュー	A班	
②	・記念日りんご	A班	
②	・りんご農園をロケーションとして企画・PR	C班	
③	・圃場提供可	B班	
③	・案内はだれかお願いします	C班	
④	・フォトスポット企画	C班	
⑤	・SNS で発信	A班	
⑤	・町の魅力を SNS で広める	A班	
⑤	・SNS に投稿可	B班	
⑤	・SNS は協力できる	C班	
⑤	・#ハッシュタグをつかった SNS 発信、#飯綱町のりんごはおいしい	C班	
⑤	・SNS 発信	C班	
⑤・⑥	・センスのいい業者、実績のある業者の選定	B班	
⑥	・WEB サイトの設立ディレクション	B班	
⑦	・協会	B班	

尖がる取組その5 りんごで健康促進プログラム			
◆趣旨 「健康」をテーマに、食べることで得られるりんごの栄養価に加え、農作業を通じて体を動かす機会を提供し、心身の健康を促進する。また、農作業によるストレスの軽減効果をデータとして活用し、well-being 幸せを実感できる健康づくりを推進する。			
◆魅力 ・観光と健康を融合させたヘルスツーリズムの需要が高まっている。 ・自然豊かで過ごしやすく、温泉もある。 ・首都圏や周辺地域からのアクセスがよい。		◆課題 ・宿泊施設の不足。 ・人材不足。	
◆魅力と課題への追加意見・・・なし			
◆取組内容			
体験メニュー	① 農作業や田舎暮らしを通じて、心身の健康を促進し、ストレス軽減やリラックスできるプログラムを提供。		
	② 農作業によるストレス軽減をデータとして活用し、企業との連携や研修プログラムとして組み込む。		
	③ 企業などの団体向けに、農作業体験や青空会議等のプログラムを提供し、交流やリフレッシュの場として展開。		
援農 就農	⑤ 高齢者が身体を動かしながら、社会貢献や収入を得られる機会を提供。		
	⑥ 体験プログラムをきっかけにした、援農や新規就農に繋げるための受け入れ体制の構築。		
取組番号	意見	班	氏名
①	・りんご宿	A班	
①	・りんご作業体験プログラム	B班	
①	・移住者として、県外体験者になりきってメニュー考案やモニターになれる	C班	
①・②	・宿泊施設の提供 レストラン・大浴場も→2025 人工温泉導入 サウナもある(男)	C班	
①・③	・大学と連携 データによる実証	B班	
①～⑤	・アシックスとアグリスポーツ	A班	
①～⑤、⑦	・摘果・葉摘みの時期受け入れ 長期も可(正味半年)	B班	
②	・農作業のストレス軽減をデータとして知りたい	C班	
③	・手絞りりんごジュース体験	B班	
③・①	・ぶどうであればプログラム面	B班	
③・④	・将来、自分のりんご園でプログラム提供	C班	
④	・農家として受け入れ	B班	
⑤	・業務として成立させる	C班	
⑦	・圃場提供可	B班	
-	・EASTでも	A班	
-	・モニターの募集(うちのおばあちゃん)	A班	
-	・ペット(わんこ)がりんごを食べて健康に(残渣活用)	C班	

目標③ 町民みんながりんごを愛する町（りんご愛日本一）関連

尖がる取組その6 なんでもりんごプロジェクト			
◆趣旨 町民の「りんご愛」を育み、誰もが関わられるプロジェクトを通じて町を盛り上げる。「日本一のりんごの町」としての誇りを示し、飯綱町の魅力を町内外に発信し、認知度を上げる。			
◆魅力 ・美しいりんご畑と景観。 ・りんごをテーマにしたイベントや文化が根付いている。		◆課題 ・町全体の一体感やブランディングの強化が必要。	
◆魅力と課題への追加意見			班 氏名
課題	・町じゅうりんごの木 防除が難しい		C班 -
◆取組内容			
① 春夏秋冬でりんごモチーフのイベントを企画する。 例：田んぼりんごアート（夏）、アップルハロウィン（秋）、りんご雪だるま（冬）など			
② 町内の設備をりんごモチーフにする。 例：りんご型郵便ポスト、りんごゴルフボールなど			
③ 町の施設や民家の庭、街路樹もりんごの木。			
取組番号	意見	班	氏名
①	・アップルハロウィン、りんごで雪だるま つくる人	A班	
①	・年間のイベントを考える際に折り込む	B班	
①	・イベントの企画のお手伝い	B班	
①	・冬 りんご雪だるま畑につくる	B班	
①	・イベントの実施	B班	
①	・アップルハロウィン、アップルクリスマスなど季節のイベントに合わせた企画	C班	
①	・かがみもちにりんご乗せる→SNSで発信	C班	
①	・「みつどんりんご」でみつどんと飯綱のりんごをPRする	C班	
①	・りんごモチーフのイベントを手伝える	C班	
①	・りんごのゴルフイベント、りんごのオープンコンペ、りんごのレストランイベント	C班	
①～③	・EASTりんご化計画（かくれりんご）	A班	
①～③	・街路樹のりんごの木はやりたい！	A班	
①～③	・SNS発信	C班	
②	・りんごの木 絵はがき	B班	
②	・ロゴを軽トラに貼り付ける（共通のオリジナルロゴ）	C班	
②	・りんごのゴルフグッズ	C班	
③	・自分の家にりんごのなにかをつける	A班	
③	・直売所玄関にりんごの木	B班	
③	・街路樹	B班	
③	・りんごの苗木 生産・販売（アイデアのみです）	B班	
③	・消毒、摘果作業	B班	
③	・もし自宅で1本育てられるなら高接ぎでmyりんごをつくりたい	C班	
③	・家の庭にりんごの木を植えることができる（もうあります）	C班	
③	・コースにりんごの木を生やす→消毒してくれ！	C班	
③	・りんごの苗木を植える手伝いできます。	C班	
③	・飯田のりんご並木はどのように管理しているか	A班	
-	・イベントの実施	A班	
-	・ドローンで撮影（田んぼアートなどで撮影できるといいかも）	A班	
-	・イベント企画	A班	
-	・町民自らの取組（例えばりんごのオブジェをつくりたい）に対して町から助成する制度づくり町民自らのアイデアを大切にしたい。	C班	
-	・りんごに関わるイベント企画案を考える SNSを活用し、イベントPR	C班	
-	・町内外の人々が愛をもってりんごに取り組んでいることを知ってもらうサイト	C班	

尖がる取組その7 いいづな推しりんごプロジェクト

◆趣旨
飯綱町の知名度向上と、町民一人ひとりがりんご愛や町への誇り（シビックプライド）を育む取り組みを推進する。りんごを通じたコミュニティの活性化と町内外への魅力発信を目指す。

◆魅力
・多品種のりんごを生産している。
・「りんご」は町の最大の強みであり、飯綱町のシンボル。
・子どもが参加できるイベントへの需要はある。

◆課題
・「日本一のりんごの町」の知名度が低い。
・町民のりんご愛や町への誇り（シビックプライド）を育む取組の不足。

◆魅力と課題への追加意見・・・なし

◆取組内容

○町民のりんご愛を育む

- ① 品種別の「いいづなりんごカード」を作成し、知識を得て、町民一人ひとりが推しりんごを言うようにする。まずは、役場や町内事業者の名刺に「推しりんご」を記載する欄を設ける。
- ② りんごを題材にしたかるた、トランプ、ボードゲーム、オセロを制作し、学校や地域イベントで使用。
- ③ 「りんごマニア」を育成するクイズ大会など楽しみながらりんご愛を深めるイベントを開催する。

○学校でのりんご教育

- ④ 「りんご講座」を開講し、修了者に「りんご博士」の称号を授与する。
- ⑤ 学校給食に毎日りんごを提供し、地元産りんごの消費を促進。
- ⑥ 学校教育の中でりんご栽培や加工品作りを体験し、りんごへの理解を深める。

取組番号	意見	班	氏名
①	・カードを集めている人が多いのでいける	B班	
①	・飯綱町でつくっているりんご、みつどんなど画像やイラストの Free 素材を提供。名刺でも何にでも使ってもらえるような体制を	C班	
①	・推しりんご素材提供	C班	
①	・名刺に推しりんごを記載することはできる	C班	
①	・とりあえず、自分の名刺に推しりんごを明記	C班	
①	・名刺を持っていない農家は多い 代わりになるカード	C班	
①・②	・アイデアの提供	B班	
①～④	・情報収集、いいづな検定	B班	
①～⑥	・りんご品種当てチャレンジ（利きりんごジュース）小学生大会やマルシェなどの実施をもっと実施したい	A班	
①～⑥	・りんごマニア	A班	
①～⑥	・食育できます!!	A班	
②	・イベント企画	A班	
②	・地域限定のカルタは人気がある 販売に協力	B班	
②	・謎解き	B班	
②	・他地域のりんごゲームをリサーチ	C班	
③	・クイズの内容のアイデアを出す	A班	
③	・ロゲイニング	A班	
③	・イベントの企画、お手伝い	B班	
③	・場所の提供	B班	
③	・企画 PR・発信	C班	
③	・利きりんごジュース大会ができる人とつながっている	C班	
④	・通年講座を開催 全部出た方に称号授与	C班	
⑤	・りんご提供	A班	
⑤	・栽培したりんごの提供	A班	
⑤	・給食にりんご	B班	
⑤	・練馬区の小学校 2校に提供 9月～2月	B班	
⑤	・ふるさと振興公社で栽培しているりんごを提供するのに協力	C班	

取組番号	意見	班	氏名
⑥	・りんご栽培体験の提供	A班	
⑥	・学校教育体験案内	B班	
⑥	・小学生の子がいるので、学校と一緒にできる	C班	
⑥	・シードル等の製造体験 関連ワークショップの開催	C班	
⑥	・はじめての方に向けた体験のポイント、コツの共有	C班	
⑥	・りんご学校の生徒であった立場を活かして協力できるかな？	C班	
-	・愛のある取組をPRするポータルサイト	A班	
-	・ゴルフ場、ホテル、ホームページなどで町のりんご情報の発信 ・場内に掲示ホテルのお客様への催促	C班	
-	・クッキングアップル料理教室やってほしい 家庭科の授業でも	C班	